

粘液嚢胞の可能性大

..... おくちの 相談室

かんだりして内容液が流出するとなくなりますが、再発を繰り返すことが多いようです。同じ場所で再発を繰り返した場合、内容液がない状態でも、いぼのように腫瘍が残ることがあります。

【答え】口の中に水泡ができる疾患は、ウイルスによるもの、免疫の異常によるもの（自己免疫疾患）など、いくつかあります。ご質問にありますように口内炎の症状を出さないこと、口の中のあちこちでできることを勘案すると、粘液嚢胞の可能性が一番高いと思われます。

粘液嚢胞は生活に支障がなければ治療を行わないこともあります。再発を繰り返す場合は切除の対象となります。嚢胞そのものだけの摘出では再発の可能性があるので、周辺の小唾液腺も併せて摘出します。大唾液腺では舌下腺から発生することがほとんどで、舌の下面や顎の下に比較的大きな嚢胞ができます。耳鼻咽喉科や歯科口腔外科などの専門的施設での手術が必要になることもあります。

粘液嚢胞は、唾液腺から出る唾液の出口や通路が、かみ傷など何らかの原因で詰まって粘膜下に唾液がたまっただけものです。唾液腺は耳下腺、顎下腺、舌下腺という大きいもの（大唾液腺）と、小唾液腺とに分けられます。小唾液腺は口唇など口の中の粘膜下に多数存在する1、2ミリから米粒大ぐらいの組織です。粘液嚢胞の多くは小唾液腺から発生し、口唇や頬粘膜などに数ミリから1センチぐらいの水疱様の腫瘍を形成します。

一方、ウイルスや自己免疫疾患による水泡は多発性、難治性の口内炎の症状を呈することが多く、食事などに支障をきたします。初期の水疱の症状では原因が分かりにくい場合があります。粘液嚢胞と思われる場合を含めて、かかりつけの歯科医院や耳鼻科などへの相談をお勧めします。

口の中に水泡ができる

【問い】口の中に小さなプチとした水泡が繰り返してできます。口の中のあちこちにできて、そのたびにつぶしたりしています。化膿したり口内炎になったりすることはないのですが、どうしたら良いのでしょうか。（諫早市、44歳女性）

回答者
よしだ 吉田 眞一
長崎市油木町
吉田しんいち歯科医院長



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒85522-86001、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。